

# 『基本件名標目表第4版』標目追加(案)第2次について

はじめに、いくつかのお願い

『基本件名標目表第4版』(以下「BSH4」とする。)を発行したのは1999年7月であった。収録の対象とした資料は1997年までに出版されたものである。件名委員会では、その後も採録すべき件名の検討を続け、1999年までの出版物を対象に「標目追加(案)第1次」を公表し、委員会のホームページを利用して関係各位の意見等を求めてきた。残念なことであるが、寄せられた意見は、これまでのところ無かった。

委員会では、その後も継続的に新設件名候補を検討している。今回、公表する「第2次」は、2006年までに出版された資料を対象としている。候補とされた件名は1200件を超えるが、慎重に検討した結果、400件余りを「追加候補」とした。第1次分と合わせて、900件足らずであり、この程度の件数ではBSH4の「増補・改版」を企図するには、やや足りないであろう。今後とも、追加(案)の検討を続けてゆくこととする。

しかし、検討のための環境は急速に変化してきた。『選定図書総目録』がCD-ROM化され、冊子体の「件名索引」では可能であった件名順の通覧ができなくなった。一方で、国立国会図書館の件名に関する業務が大きく進展し、『国立国会図書館件名標目表』がオンラインで利用出来るようになり、さらに新設件名情報も適確に公開されるようになっていく状況がある。さらに、委員メンバーが少数になってしまっている。

インターネット時代にあっても統制された「コトバ」による検索の意義は大きく、「件名」検索への期待も高まってきている。

これらの環境の変化は、『基本件名標目表』のあり方そのものの再検討を余儀なくされていると考える。将来を見据えた論議を館界挙げて始める時に来ているであろう。

いくつかのお願いを記しておきます。

まず、第1次案も含めて「追加標目」案についてのご意見をいただきたい。また、今後のBSHのあり方について考えられることをご提示してほしい。さらに、それらを検討する委員会に関わりをもっといただける会員諸氏のお申し出をお願いしておきたい。

ご意見・ご連絡等は、E-mail : bsh@jla.or.jp へ

## 「追加件名候補」選定方針

BSH4の「標目選定方針」を踏襲する。

BSH4で新たに作成した「階層構造標目表」の構造を維持する。

選定の素材となる資料等は、BSHの性格からして『選定図書総目録』に収録されたもの(2000年～2006年刊行分)とした。

作業にあたっては『国立国会図書館件名標目表』2008年度版(追録を含む)を参考とした。

## 追加標目候補(案)第2次の表示

番号 = 典拠資料の刊行年次下2桁 + 『選定図書総目録』掲載ページ + 一連番号

件名標目 = 件名標目候補、参照標目候補（ で既存件名あるいは件名標目候補を指示）

NDC8 = NDC8 版による分類記号、2 つ以上あるときは「 ; 」で区切る

NDC9 = NDC9 版による分類記号、2 つ以上あることは「 ; 」で区切る、「 + 」をつけたものは NDC9 版において新設された分類記号である

Top Term = BSH4 の「階層構造標目表」での最上位標目（一覧を件名委員会 HP で提供）

Broader Term = より上位の件名標目、BSH4 に既に採録されたものが多い

Narrower Term = より下位の件名標目、BSH4 に既に採録されたものが多い

Note = 委員会が検討するにあたってつけた「注」で、標目付与にあたっての留意点ともなる

See Also = 「をも見よ参照」

典拠資料 = 標目候補とする際の典拠となった資料を示す

NDLSH = 国立国会図書館が件名標目としているか否かを示す

検討結果 = 委員会としての結論（ : 採用、 BSH4 の修正）、委員会内にあった異見などを記録した

項目の間は「 \ 」で区切った。「 \ 」が続く場合は、対応する項目が空白の場合である

番号 \ 件名標目 \ NDC8 \ NDC9 \ Top Term \ Broader Term \ Narrower Term \ Note \ See  
Also \ 典拠資料 \ NDLSH \ 検討結果